



校長室だより

# みちくさ

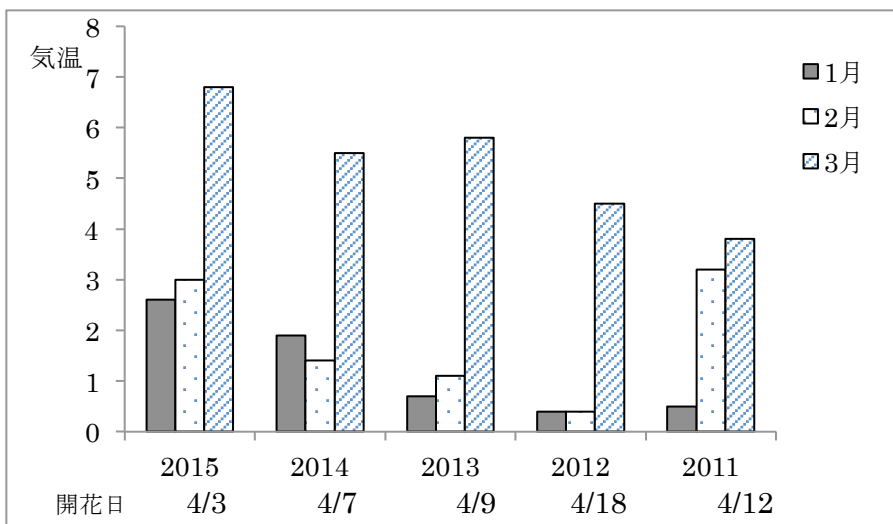
2015.4.15 No.1



## 桜の休眠打破

入学式に合わせたかのように、今年は校庭の桜が満開になりました。先週末が一番見頃だったでしょうか。校庭が芝生なので、ここでそのままお花見ができるなあと思いました。仙台では今年はちょうどいい時期に咲いてくれましたが、桜の花がいつ咲くのかは、いろいろ秘密があるようです。桜は、前年の夏に花芽が形成され、その後休眠に入りますが、冬期間に一定の低温にさらされないと、春になってもいつまでも目覚めないのです。これを休眠打破と呼ぶそうです。植物のこととはいえ、辛い時期を乗り越えてこそ花開くというのは、人間にも通じることであり考えさせられます。

そこで、過去のデータを調べてみました。1～2月の平均気温が一番低かったのは、過去5年間では



2012年でした。ただ、この年の開花は、例年よりも遅れ4月18日になっております。逆に、今年は5年間で一番暖かい冬だったにもかかわらず、開花は一番早い4月3日でした。調べてみると、予想を裏切り全く逆の結果になりました。何か他の要因があるのでしょうか。これだから、自然界というのは不思議だと思います。

仙台市の月平均気温と桜の開花 (気象台データより)

## 「はじめまして」

4月から片平丁小学校でお世話になっております校長の成田忠雄と申します。どうぞ、よろしくをお願いします。

朝、横断歩道のところに立っていたとき、ある男の子から言われました。

「校長先生！ぼくのお母さん知っている？」

実は、私は片平に勤務するのは二度目なのです。平成元年から8年間勤務しました。当時、隣のクラスに在籍していた児童が、その子のお母さんでした。また、地域の会合に出席し、様々な方にご挨拶いただいているのですが、既に3名の方から、「うちの子どもが昔、先生に…」とお話をいただきました。当時の未熟さが思い出されて、妙に恥

ずかしい気持ちにもなります。しかし、同じ学校に二度勤められるとこんな出会いもあるのかとうれしくなります。

教員として、一番いろいろなことを吸収できる30代にここでお世話になり、学校や地域に育てていただきました。残り少ない教員生活で、できる限りのご恩返しをしていきたいと思ひます。

不定期になりますが、校長として考えていることや一人の人間(親)として感じたことを、皆様に発信していきたいと思ひます。

タイトルは、子どもころに(今も!?)大好きだった「みちくさ」です。どうぞ私の「みちくさ」におつきあいください。

